

(別紙)「宝塚市都市計画マスタープラン(案)及び宝塚市立地適正化計画(案)」に対するパブリック・コメント手続きに基づく意見募集の結果一覧表

・意見の募集期間 令和3年(2011年)12月1日(水)～令和4年(2012年)1月4日(火)
 ・提出意見件数 30件

貴重なご意見ありがとうございました。意見の採否及び理由等は以下のとおりです。

No.	項目	ページ	市民等からの意見	市民等からの意見の採否及び理由	市民等からの御意見を受けての見直し結果
1	宝塚市都市計画マスタープラン(案)の全般に関すること		<p>マスタープランについて、地域の特性が最適な立地条件を保有しているのに活用を怠る方向へ進んでいることが、残念です。中国や富士山麓で私企業がチャレンジを始めている昨今、政府及び県とのつながりが希薄になっている証と思います。</p> <p>数年後にはリニア新幹線が奈良経由で名古屋及び新大阪に繋がり、伊丹空港が閉鎖される頃には、今迄、逆風時のみ飛行ルートがかなり市街地の上空を空路としてますが、このころには、エアプレーンのタクシーや自家用航空車両が空を自由に飛行できる社会となっています。これらの試験的新都市づくりの試験立地として、三都市(京都・奈良・神戸)の中心地であり、航空路にも山間地で遮られているJRの駅は武田尾駅が半分トンネルであり、地上の駅前広場が狭くこのトンネルの北西部にある隙間(トンネルとの)の北側には、第二名神高速道路の宝塚SA・SICの施設へ繋げられる立地である。正司市長時代に検討された新都市計画を再度見直し、国と未来社会の無電柱・空路制限を配慮したエアースペース等の検討を試験的に実践出来る試験都市を提案していかないと、これからの都市づくりが叶いません。</p> <p>他の都市に譲らず、試験的なチャレンジを実践し、関連する産業を育成してゆき市財政の健全化を図ることができる新都市構想の復元を提案いたします。</p>	<p>【原案のとおりとします】</p> <p>人口減少・少子高齢化や経営資源の縮小が進行する中、民間事業者や周辺市町・国・県との連携や実験的な都市づくりの重要性は認識しているところです。</p> <p>武田尾駅、宝塚北SA・SIC、県有環境林(旧宝塚新都市計画区域)がある北部地域については、土地利用の基本方針として、地域資源を生かしたまちづくりの推進、諸制度の活用による自然環境の保全を定めています。今後は、これら方針に基づいた都市づくりに取り組んでまいります。</p>	<p>いただきましたご意見等について、見直しには至りませんでした。今後の取組みの参考とさせていただきます。</p>
2		<p>観光上、宝塚歌劇だけの現状を二元化へ、前記、新都市が生育する前に、井植山荘(旧藤田男爵)のエリア10万坪を活用した長期休養地への検討も必要な時期ではありませんか。モナコやドイツのバーデンバーデンなどの長期休養地に滞在保養地へ最適だと思います。掘削すれば、温泉も確保できる地域だと思います。</p>	<p>【原案のとおりとします】</p> <p>本市の観光については、宝塚大劇場や神社仏閣などに多くの観光客が訪れていますが、中には有効に活用しきれていない観光資源もあり、その活用が求められているところはあります。</p> <p>井植山荘が立地する市街地周辺緑地については、土地利用の基本方針として、緑地の保全・活用を定めています。また、市街地周辺緑地は山麓部の住宅地と併せて丘陵ベルトとして位置付け、緑地とゆとりある住宅地が調和した良好な住環境と本市を特徴づける景観の形成をめざすこととしています。今後は、これらの方針に基づいた都市づくりに取り組んでまいります。</p>	<p>いただきましたご意見等について、見直しには至りませんでした。今後の取組みの参考とさせていただきます。</p>	
3		<p>学校区の関係で平井の地区を通り、通学する児童学生の通学路への配慮が必要だと思います。丈夫な吊り橋でも設置して頂き、通学の利便性にご配慮いただきたい。</p>	<p>【原案のとおりとします】</p> <p>通学路については、小学校で片道4km以内、中学校で片道6km以内と規定する通学区域において、PTAからの要望を学校が承認する形で設定されています。</p> <p>橋梁等の都市施設については、長期的・総合的な観点から整備が必要となるものを除き、既存ストックの維持・更新を基本方針とした整備に取り組んでまいります。</p>	<p>いただきましたご意見等について、見直しには至りませんでした。今後の取組みの参考とさせていただきます。</p>	
4		<p>今回の都市計画MP案は前回計画と比較して、誇りと魅力ある宝塚の都市づくりへの指針及び都市イメージ案として不十分であると思う。</p> <p>世界的に成長路線だけに頼らず人間本来の幸せや満足感達成、SDGs視点などからの都市づくり、コロナ禍を経験した上で新たなライフスタイルを許容する柔軟な都市づくりと都市デザインが求められている。そのような背景の上に立って今回の都市計画MPは作成される必要がある。</p> <p>住まい、働く人、訪れる人々にやさしく、温かく包み込み、迎える都市づくりの方向を目指す必要がある。既存計画の良いところを継承し将来に向け抜本的に見直すところは見直す。宝塚歌劇のブランドを一度切り離し、本来の宝塚を的確にとらえた上で、宝塚らしい特質、新たな地域資源の活用などを盛り込み、活用した都市デザインの提案が必要と考える。</p> <p>例えば南部市街と北部西谷が並立する宝塚は他市には無いすばらしい特質であり魅力である。相互関係を人口や産業といった一面的な見方ではなく、密集からの解放、ストレスからの解放、多様性への可能性、新たな魅力の取り込みといった観点から位置づけ、言わば二眼レフカメラのような捉え方をすることで、相互依存や相互交流促進による魅力あるライフスタイル、ワークスタイル及び多様な産業への波及更に多様な誘客効果が期待できる。そのような思い切った都市政策が必要であると考える。</p>	<p>【原案のとおりとします】</p> <p>宝塚市都市計画マスタープラン(案)の策定にあたっては、ご意見にあるように「持続可能な社会」や「生活様式の変化」等の都市計画に関する社会潮流や本市の現状を勘案しながら都市づくりの目標や方針を検討してきたところです。今後はこれらに基づき、個別具体の施策に取り組んでまいります。</p>	<p>いただきましたご意見等について、見直しには至りませんでした。今後の取組みの参考とさせていただきます。</p>	

No.	項目	ページ	市民等からの意見	市民等からの意見の採否及び理由	市民等からの御意見を受けての見直し結果
5			<p>将来像として「買い物や医療など日常的に利用する施設が身近にある、便利なまち」を多くの人が挙げているにもかかわらず、買い物の便利さを不満とする人が30.6%存在する。大型ショッピングセンターのある西宮や尼崎、伊丹に消費者は流れており、宝塚市内で消費が循環していない。それだけでなく、せっかくの宝塚ブランドでありながら、商業施設の少なさも、西宮や尼崎、伊丹に若い世帯そのものが流出している。宝塚が今後も価値あるブランドとして憧れてもらえる地にするために古き良き街並みを残す必要があると考える一方で、利便性の高い施設を積極的に誘致し、若い世帯が住みたくなる街づくりをしていただきたいと思う。競馬場高丸線の開通も予定されており、仁川駅から徒歩圏内の立地であることから、仁川団地跡地に商業施設を誘致するのはどうか。西宮や伊丹に対抗できる大型施設の誘致は簡単ではないと思うが、500平米までの店舗しか建設できない第一種中高層住居専用地域の指定を外すことで、中規模程度の商業施設を誘致することは可能ではと考える。</p>	<p>【原案のとおりとします】 仁川団地跡地については、中高層住宅地として位置付けているほか、周辺も低層住宅地が広がるなど、良好な住宅地エリアとしての地域特性を有しています。そうした地域の状況のほか、住民意向を踏まえながら、地域の価値づくりの推進に取り組んでまいります。</p>	<p>いただきましたご意見等について、見直しには至りませんでした。今後の取組みの参考とさせていただきます。</p>
6	宝塚市都市計画マスタープラン（案）の全般に関すること		<p>これからの10年この街はどの様に変革するのか、期待に胸を膨らませて関連資料をざっと目を通しました。今まで市政にそれ程関心が無かった性かも知れませんが、資料を読み終えて、全く内容が理解できません。「わたしたちの舞台はたからづか」、その宝塚をどのようにしようとしているのか判りません。市民の皆様がどの程度理解出来るか疑問です。計画には沢山の市役所関係者、有識者、市民の方々が参加して立案されていると思います。 当然、先ずは今までの宝塚市の都市計画の現状把握されたらと思います。その内容はHPで報告されているのでしょうか。私が認識していないので誤解しているかも知れません。 今までもこの様な都市計画マスタープランの様な長期的な計画を立案して都市計画を推進されてきたのだと思います。その計画について、どの様に推進出来たのか（各計画毎に、実施可否、出来た内容、出来なかった内容、その理由等々）フォローして何が問題であったか、今回の計画に反映すべきと思います。 予算、優先順位等で延び延びになった内容、先を見越した、時代に即した計画が出来なかった。全ての理由を明確にして今回の計画に反映すべきと思います。明確にしないで次の計画を立案しても市民の市政への関心は薄らぐだけだと思います。 私達の街は高齢者、障がい者に優しい街と言えるのでしょうか。例えば、主要公共交通機関の宝塚駅、宝塚南口を例にして見て下さい。高齢者、車いすの方が一人で乗り降り、公共機関の乗り継ぎが出来るのでしょうか。1970年以降高齢者問題がクローズアップされて来て長い時間が経過しています。全ての場所、道路への期待は予算、その他諸事情もあり実施する事は不可能であり市民の皆様も理解できます。しかしバリアフリーが一部でも出来ていますか。バリアフリーバスに乗れますか。盲人用の信号、道路標示等々……………こんな状態で良いのでしょうか。道路の表面の凹凸、照明も最低限必要な個所に設置が必要です。全てを対応するのは不可能です。一部のエリアでも弱者に優しい街を実現すべきです。 私が仕事で某市を何度も訪問していましたが、一部のエリアでは完全にバリアフリーが実現しています。内容を聞いて見ると、障がい者、高齢者、地域の方、行政が何度も何度も検討を行いバリアフリー委員会がきめ細かにフォローしながら、アイデアを出し合い現状に大きな改造をしないで、高齢者、障がい者が楽に通れて自転車専用道路も確保できていました。一部のエリアですが、この様にすれば出来るんだと感心しました。この様な対応を少しずつ水平展開して行く努力をされているようです。 他県、他市の情報もどんどん参考にして小さな対応でも具体的に市民に実感して納得し貰える行政をお願いしたい。この計画も弱者（障がい者、高齢者、子供）への対応とアクセスに悪い地域の活性化が最優先テーマであり、これを最短で取り組める計画を考えて欲しい。</p>	<p>【原案のとおりとします】 宝塚市都市計画マスタープラン（案）の策定にあたっては、基礎調査として実施した本市の現状の整理と都市構造の評価や市民アンケート調査等を踏まえ、都市計画審議会や庁内における検討を重ね、その過程についてはホームページや住民説明会等で周知してきたところです。個別の施策については個別計画等により、進捗管理を行ってまいります。 高齢者や障�者に優しい街については、都市施設整備等の方針において、誰もが移動し、活動できる環境の形成と環境や安全・安心に配慮した都市施設整備の推進を基本方針として掲げており、この方針に基づき高齢者や障�者に配慮した都市施設整備に取り組んでまいります。</p>	<p>いただきましたご意見等について、見直しには至りませんでした。今後の取組みの参考とさせていただきます。</p>
7			<p>検証(評価と見直し)項目の欠如…マシナリサイクル(PDCA)の転回は、まずCから始めることが重要です。「2022年マスタープラン」の設定に必要な「2012マスタープラン」(P)の実施(D)の次のステップである評価=実施状況・目標達成未達成原因の究明(C)・改善=再発防止策の設定と実施(A)等の検証(CA)項目が欠けています。 検証(CA)内容を明確にし、「2022都市計画マスタープラン」に反映することが重要です。目次に「前期マスタープランの評価概要」項目を追加し、実施状況、目標・実績・達成率・達成未達成原因・再発防止策・次期マスタープラン引継ぎ事項等を項目別に「マトリクス表」にまとめて掲載することが必要です。その方が「今期マスタープラン」を理解し易いと思います。</p>	<p>【原案のとおりとします】 宝塚市都市計画マスタープラン（案）の策定にあたっては、基礎調査として実施した本市の現状の整理と都市構造の評価や市民アンケート調査等を踏まえ、都市計画審議会や庁内における検討を重ね、その過程についてはホームページや住民説明会等で周知してきたところです。個別の施策については個別計画等により、進捗管理を行ってまいります。</p>	<p>いただきましたご意見等について、見直しには至りませんでした。今後の取組みの参考とさせていただきます。</p>

No.	項目	ページ	市民等からの意見	市民等からの意見の採否及び理由	市民等からの御意見を受けての見直し結果
8	宝塚市都市計画マスタープラン（案）の全般に関する事		隣接都市の尼崎市は、下記の通り「都市計画マスタープラン」が効率的・効果的に実行されているかどうかを、「進行管理プロセス」を導入しPDCAサイクルにより検証しています。宝塚市も、この仕組みを形だけでなく具体的に取り入れることが重要です。 1) PDCAサイクルの運用 「都市計画マスタープラン」に基づき実施される施策・事業が効率的かつ効果的に実行されているかどうかを、PDCAサイクルにより検証します。 2) 計画の評価 毎年、市が行う事業の進捗状況や本市の現況を把握するとともに、本市総合計画に係る市民意向調査の結果も活用し、めざすまちの姿及び分野別まちづくりの達成状況、関係法令や関連計画の変更、社会経済情勢の動向を踏まえ、評価を行います。 3) 見直し段階での市民参加 (1) 見直しプロセスへの市民参加 まちづくりに関する情報の共有や学習の機会の提供により、市民のまちづくりに対する理解度が徐々に広がっていくことが期待されることから、計画策定や進行管理への市民参画を積極的に呼びかけ、見直しのプロセスにおいて市民の意見やアイデアの適切な反映に努めます。 (2) 見直しに関する情報の公開 評価と見直しの状況は、適宜公開を行い、その結果及び内容がどのようにまちづくりに反映されたかわかるような形で公表します。（「情報公開」が重要！）	【原案のとおりとします】 宝塚市都市計画マスタープラン（案）の策定にあたっては、基礎調査として実施した本市の現状の整理と都市構造の評価や市民アンケート調査等を踏まえ、都市計画審議会や庁内における検討を重ね、その過程についてはホームページや住民説明会等で周知してきたところです。個別の施策については個別計画等により、進捗管理を行ってまいります。	いただきましたご意見等について、見直しには至りませんでした。今後の取組みの参考とさせていただきます。
9	宝塚市都市計画マスタープラン（案）の特定の部分に関する事	8 9	P8の人口密度図と比較して、売布駅北、野上6丁目、南口周辺、梅野町付近の密度が高くなるよう推計されているが、とくに梅野町から湯本町付近は現在も密度が高く、第一小学校区は過大校になり、教育環境上や遠距離通学など多くの課題が生じている。今後、これらを是正するよう都市計画上の対応策（例えば用途、容積規制など）検討が必要と思われるが如何か。	【原案のとおりとします】 中心市街地を構成する商業地域や近隣商業地域の一部では、多くのマンションの立地が進行していることから、商住混在の地域のあり方について、住民とともに検討していく必要があると認識をしています。その中で都市計画制度の見直しも視野に入れながら小学校の過密問題等の検討に取り組んでまいります。	いただきましたご意見等について、見直しには至りませんでした。今後の取組みの参考とさせていただきます。
10	宝塚市都市計画マスタープラン（案）の特定の部分に関する事	13	西谷地域の生活利便施設は皆無に近く、三田や猪名川方面に行くしかないが、今後高齢化がますます進み自力で買い物に行けない層が増大し生活難民と化すと思われ、利便施設立地促進など都市計画上の支援策を早急に配慮する必要があると考えるが如何か。 また、有償ボランティアのシニアサポート制度（買い物、医療、草刈りなどのサポート）などシステムとして運用することも必要である。	【原案のとおりとします】 北部地域については、既にコミュニティー施設や農業振興施設、公益施設が集積する西谷庁舎周辺を北部地域拠点として位置付け、公共公益機能が集積し、地域の生活を支えるとともに、市内外の人々が交流できる拠点をめざすことを掲げています。また、住民主体のエリアマネジメントの促進等により、生活利便施設等の整備を誘導し、集落地域の生活環境の向上を図る方針としており、今後はこれらに基づく取組を進めてまいります。	いただきましたご意見等について、見直しには至りませんでした。今後の取組みの参考とさせていただきます。
11	宝塚市都市計画マスタープラン（案）の特定の部分に関する事	16 32	P16図、西谷と宝塚駅前を結ぶ阪急バス路線がなくなったが、P32では将来交通ネットワークで記載されている。宝塚の今後の都市づくりの要の一つは西谷の利活用と交流促進にあると考える。そのためにも宝塚駅前直結型公共交通や休日、祝日定期便の復活、デマンドバスなどが必要と考える。現在、西谷の魅力と可能性が徐々に市民や阪神間県民にも認知されつつあり、訪問希望が増大している。しかし、公共交通サービスがますます不便になり西谷内部まで誘客することができない。	【原案のとおりとします】 交通ネットワークについては、鉄道などで各拠点を結び、それをバスや新たな移動手段が補完し、誰もが安全・安心に移動できる交通ネットワークの形成をめざすことを掲げています。今後はこの目標に基づき公共交通に関する計画を策定し、具体的な方針を示す予定です。	いただきましたご意見等について、見直しには至りませんでした。今後の取組みの参考とさせていただきます。
12	宝塚市都市計画マスタープラン（案）の特定の部分に関する事	21	宝塚北SA・SICのオープン化により、令和元年度（2019年度）には、約1000万人…とあるが、増加した約200万人のその殆どがトイレ休憩と有名土産物店消費が目的で、宝塚や西谷の活性化に寄与したと考えられない。また、宝塚大劇場の入場者も大半が劇場内消費で市内回遊や消費の波及効果に寄与していないと考えられる。したがってこのような課題数値をもとに政策立案することは現実的でないと考えられる。 北インターであれば数百万人の一部でもいかにして西谷に取り込めるか、そのために西谷にどのような魅力施設や資源が必要か、総合的な視点から検討実施する必要がある。また、そのような機能立地を可能とする都市政策や都市計画が必要である。	【原案のとおりとします】 ご意見にあるとおり、宝塚北SAの訪問に対し、市内観光資源への誘客や消費を促すことが必要であると考えています。 北部地域については、本市全体としての資源である豊かな自然環境や田園環境を適切に保全するとともに、地域資源を生かした魅力的なまちづくりをめざすことを掲げています。現時点では地域ブランドの構築や土地利用規制の一定の弾力的運用等の取組を進めているところですが、今後は宝塚市観光振興戦略との連携を図りながら、宝塚市北部地域まちづくり基本構想に基づく土地利用規制・誘導に取り組んでまいります。	いただきましたご意見等について、見直しには至りませんでした。今後の取組みの参考とさせていただきます。

No.	項目	ページ	市民等からの意見	市民等からの意見の採否及び理由	市民等からの御意見を受けての見直し結果
13	宝塚市都市計画マスタープラン（案）の特定の部分に関すること	26	「農がある暮らし」は周辺の三田や猪名川、川西でも可能であるが、宝塚の西谷では、小さな山並みと谷間で構成された景観的にも心地よい空間、歴史文化の蓄積など他にない居住環境やワーク環境がある。これらを活用し、「半農半X」「リモートワーク+農」「里山保全+リモートワーク」など今後増大するであろうライフスタイルが可能である。これらに対応できる土地利用やより一層の都市計画規制緩和策が必要である。	【原案のとおりとします】 北部地域については、本市全体としての資源である豊かな自然環境や田園環境を適切に保全するとともに、地域資源を生かした魅力的なまちづくりをめざすことを掲げています。現時点では地域ブランドの構築や土地利用規制の一定の弾力的運用等の取組を進めているところですが、引き続き宝塚市北部地域まちづくり基本構想に基づく取組を進めてまいります。	いただきましたご意見等について、見直しには至りませんでした。今後の取組みの参考とさせていただきます。
14		26 27	通り一遍な課題設定…前述の「前期マスタープランの進捗状況・評価(CA)」がなく、「新たな環境変化」等に触れていないため、課題設定が通り一遍で危機感・主体性・当事者意識等を感じることができません。課題設定の根拠・問題の所在の深堀り・解決の方向等に注力した内容にした方がベターだと思います。例えば、人口減少・少子高齢化の何が課題なのか、解決すべき点は何か、そのためにどんな点に注力した都市づくりが必要なのか、等問題意識を強く持って課題設定を行う必要があります。 また、各課題を重要度順に並べた場合に、優先順位はどうすべきか。厳しい財政状況の中で対策事業を展開するにはどうするかも触れておく必要があるように思います。	【原案のとおりとします】 都市づくりの課題については、社会潮流や本市の現況を踏まえ、都市づくりに関する本市の課題を7つの項目に整理し、それぞれ課題の内容を記載しています。また、都市づくりの課題への対応として、6つの都市づくりの方向を掲げており、この方向性に沿いながら、都市づくりの方針に基づく取組を進めてまいります。	いただきましたご意見等について、見直しには至りませんでした。今後の取組みの参考とさせていただきます。
15		27 52	従来、まち協を中心にしたまちづくりの視点から計画づくりをされてきたが、第6次総合計画に見るように、ほとんどの地区では、本来立地特性から宝塚の都市づくり積極的に関与し提案すべきことが、全く触れられず、ソフトなまちづくりに終始している。各まち協が全市の都市づくりや都市デザインの観点から積極的に活動し提案することが必要であると考え。 また、有識者だけでなく専門的な視点から様々な活動や提案を行っている市民や団体もあり、それこそ市民力を結集して都市課題や都市デザインに取組むことが必要であると考え。 これはP52第5章にもかかわる意見である。	【原案のとおりとします】 都市づくりにおける協働の推進の必要性については認識しており、そのために多様な主体の活動の促進や官民連携によるまちづくりの推進を掲げているところです。今後はこの方針に基づき、地域の課題解決に向け、行政情報の蓄積と提供、出前講座や専門家派遣に努めるとともに、先進地域の活動の横展開による地域間の連携に取り組んでまいります。	いただきましたご意見等について、見直しには至りませんでした。今後の取組みの参考とさせていただきます。
16		29	1.めざす将来都市像 前回2012版では、「(1)庭園都市～環境と共生する都市～」、「(2)居住文化創造都市～ふれあいのあるまち～」、「(3)芸術レクリエーション都市～交流のあるまち～」とあり、交流、誘客促進など「観光と回遊」を大きなテーマにしたように思う。今回は、「居住環境の継承」「文化芸術の醸成」「自然環境との共生」と、「観光」「誘客」「回遊」といった宝塚を巡る視点が欠けているように感じる。また前回には記載され市民にも浸透していた「観光プロムナード」がなくなった理由は何故か。 また「居住環境の継承…新たなニーズにも柔軟に対応しながら…」とある。新たなニーズとは「半農半X」「リモートワーク+農」「里山保全+リモートワーク」などコロナ化でニーズの高まったライフスタイルなども含んでいるのであれば西谷の環境容量に配慮した新たな居住機能立地を想定した土地利用計画が必要と考える。 「文化芸術の醸成…文化芸術が感じられる都市…」とは、都市全体に文化芸術を彷彿とさせる都市デザインや景観デザインが必要である。道路、河川、都市公園、都市緑地はもとより、民間大規模施設、主な都市の視点場、街角広場、遊歩道などにもデザインが必要である。	【原案のとおりとします】 中心市街地の主要回遊動線である観光プロムナードについては、ライフスタイルの多様化をはじめとする社会潮流の変化の中、従来型の観光だけではない活用がその周辺の空間も含めて期待されています。これを踏まえ、限定的な「観光プロムナード」の表現ではなく、地域資源等を生かした整備を行うとともに公共空間の柔軟な利活用による回遊性や滞在性の向上を図り、新たな魅力づくりと都市型観光商業地としてのポテンシャルの向上に努めることを方針として掲げています。 居住環境の継承と文化芸術の醸成については、都市づくりの目標として掲げており、この目標を目指すための都市づくりの方針に基づき、個別具体の計画を示していくとともに個別具体の施策に取り組んでまいります。	いただきましたご意見等について、見直しには至りませんでした。今後の取組みの参考とさせていただきます。

No.	項目	ページ	市民等からの意見	市民等からの意見の採否及び理由	市民等からの御意見を受けての見直し結果
17	宝塚市都市計画マスタープラン(案)の特定の部分に関すること	29	<p>曖昧・抽象的で特性を感じられない将来都市像…「前期マスタープランの評価(CA)」・「新たな環境変化」に触れず、現状把握に基く「都市づくりの課題」の問題意識が弱くて曖昧なため、「目指す将来都市像」が曖昧・抽象的で特性を感じられないものになっていると思います。</p> <p>①居住環境の継承 ②文化芸術の醸成 ③自然環境との共生の3項目を実現すれば、上位計画の「目指すまちの姿」(a. 未来につながるまち b. 安全快適なまち c. 福祉充実の安心なまち d. 子供が育つまち e. 豊かで美しい環境のまち f. 創造性豊かなまち)に果たしてなるのか目的・手段関係を明確にする必要があります。</p> <p>同時に「目指す将来都市像」のPDCAを回すために、①②③の現状レベル・具体的(定性・定量)目標レベルを明確に設定し、記載しておく必要があります。目標値がないと進捗状況・結果を評価することができないからです。また、①と③は環境で類似していますし、②で宝塚歌劇は小林一三が伝えるように芸術でなく娯楽であり、訂正する必要があります。そこで「都市づくりの課題」・「目指すまちの姿」等を踏まえ、「目指す将来都市像」(タタ)を次のように提案したいと思います。</p> <p>(1) “緑と安全に配慮する環境・防災重視の都市づくり”：宝塚の豊かな自然・恵まれた居住環境の維持・保全に努める共に、防災整備・防災に注力し、脱炭素・循環型社会へ前進する都市づくりを進めます。〈課題：(2)住宅都市の魅力向上 (4)豊かな緑の保全・活用 (5)大規模災害への備えまちの姿：b. 安全快適なまち e. 豊かで美しい環境のまち〉</p> <p>(2) “老いも若きも大切に作る安心住宅都市づくり”：健康寿命延伸・医療介護支援や子育て・教育環境整備等に注力して、高齢者・若い子育て世代が共に安心して暮らせる都市づくりを推進します。〈課題：(1)人口減少・人口構成の変化への対応 (6)公共施設の適切な維持管理と見直しまちの姿：c. 福祉充実の安心なまち d. 子供が育つまち〉</p> <p>(3) “皆が元気に集う職・住・遊近接の都市づくり”：北部田園資源・南部人的資源・情報技術等を駆使して、コロナ禍でも時流に乗る商サービス・農業等の新規事業・観光事業振興に注力すると共に、域内外の人的交流を盛んにし、活気あふれる元気な職・住・遊近接の都市づくりを推進します。〈課題：(3)宝塚らしい産業の維持・充実 (7)都市づくりにおける協働の更なる推進まちの姿：a. 未来につながるまち f. 創造性豊かなまち〉</p> <p>とりわけ(3) “皆が元気に集う職・住・遊近接の都市づくり”に、全市の60%(6000ha)を占める“宝塚の宝 北部西谷地域”を欠くことはできません。里山・小川等自然と戯れる「遊」、子育てしやすい教育環境を整えた、都会よりも広くて快適な「住」、スマート農業(情報技術で省力化・品質向上を図る新農業)・情報ニュース(テレワーク共)等の「職」、この「職・住・遊」エリアを“北部西谷地域”を主体に創出することにより、若者多数を交えた老若男女が元気に生活できる都市づくりを強力に推進することが重要です。</p>	<p>【原案のとおりとします】</p> <p>めざす将来都市像については、本市の現況や市民アンケート等を踏まえ、本市の魅力と特性を生かした都市づくりに取り組めるよう、将来都市像を3つにまとめたものです。一方で都市づくりの課題への対応として、6つの都市づくりの方向を掲げており、より詳細な目標を示しています。</p>	<p>いただきましたご意見等について、見直しには至りませんでした。今後の取組みの参考とさせていただきます。</p>
18		30	<p>(1)土地利用 「…メリハリがある土地利用…」とあるが、北部地域は市街化調整区域指定50年以上となり、今後の人口減少、ライフスタイルやワークスタイルの多様化、都市と田舎の共生、スマート農業、集中から分散へといった将来動向から、メリハリが効きすぎた土地利用からより柔軟な土地利用がふさわしいと考えるが如何か。</p>	<p>【原案のとおりとします】</p> <p>北部地域については、本市全体としての資源である豊かな自然環境や田園環境を適切に保全するとともに、地域資源を生かした魅力的なまちづくりをめざすことを掲げています。現時点では地域ブランドの構築や土地利用規制の一定の弾力的運用等の取組を進めているところですが、引き続き宝塚市北部地域まちづくり基本構想に基づく取組を進めてまいります。</p>	<p>いただきましたご意見等について、見直しには至りませんでした。今後の取組みの参考とさせていただきます。</p>
19		30	<p>(2)拠点 ①南部地域 ア 都市拠点 武庫川右岸地区は震災後、従来の用途地域を踏襲したため、高層マンション開発が無秩序に進み、高容積密集住宅地となり、景観や通風、日照など住環境として十分でなく、しかも大規模小学校区の課題地区となった。商業、文化芸術、観光などの多様な機能が集積し、市内の人々が活動交流できる都市全体の魅力と活力を支える拠点となるかどうか疑問である。どのようにすれば目的が達成できるか具体的な計画案が必要と考える。また、地域別計画では「観光プロムナード」という言葉が消えているが武庫川右岸左岸を回遊するプロムナードと都市づくりというテーマは無くなったのか。</p>	<p>【原案のとおりとします】</p> <p>中心市街地を構成する商業地域や近隣商業地域の一部では、多くのマンションの立地が進行していることから、商住混在の地域のあり方について、住民とともに検討していく必要があると認識をしています。その中で都市計画制度の見直しも視野に入れながら小学校の過密問題等の検討に取り組んでまいります。</p> <p>中心市街地の主要回遊動線である観光プロムナードについては、ライフスタイルの多様化をはじめとする社会潮流の変化の中、従来型の観光だけではない活用がその周辺の空間も含めて期待されています。これを踏まえ、限定的な「観光プロムナード」の表現ではなく、地域資源等を生かした整備を行うとともに公共空間の柔軟な利活用による回遊性や滞在性の向上を図り、新たな魅力づくりと都市型観光商業地としてのポテンシャルの向上に努めることを方針として掲げています。</p>	<p>いただきましたご意見等について、見直しには至りませんでした。今後の取組みの参考とさせていただきます。</p>

No.	項目	ページ	市民等からの意見	市民等からの意見の採否及び理由	市民等からの御意見を受けての見直し結果
20	宝塚市都市計画マスタープラン (案)の特定の部分に関する こと	30	(2)拠点 ①南部地域 イ 地域拠点 各駅前が金太郎あめではなくより特色と個性ある拠点づくりを行い、相互利用を促すような都市づくりが必要である。	【原案のとおりとします】 ご意見のように、めざす都市構造では鉄道駅を主な拠点として位置付けるとともに地域の特性に応じた拠点形成をめざすことを掲げています。さらに交通ネットワークとして各拠点を鉄道、バス、新たな移動手段で結び、誰もが安全・安心に移動できることを掲げています。	いただきましたご意見等について、見直しには至りませんでした。今後の取組みの参考とさせていただきます。
21		31	②北部地域 ア 北部地域拠点 西谷庁舎周辺の拠点だけでなく、市内外からの誘客を促し西谷の活性化のためには、北部上佐曽利地区、下佐曽利・長谷地区など交通クロスポイント付近に生活サービス、休憩、トイレなどのミニ拠点が必要である。併せて西谷を回遊できる自転車みち、南部から車でアクセスし自転車に乗り換えて回遊可能なパーク＆サイクル整備が必要と考える。	【原案のとおりとします】 北部地域については、本市全体としての資源である豊かな自然環境や田園環境を適切に保全するとともに、地域資源を生かした魅力的なまちづくりをめざすことを掲げています。現時点では地域ブランドの構築や土地利用規制の一定の弾力的運用等の取組を進めているところですが、引き続き宝塚市北部地域まちづくり基本構想に基づく取組を進めてまいります。	いただきましたご意見等について、見直しには至りませんでした。今後の取組みの参考とさせていただきます。
22		31	(3)ネットワーク ①交通ネットワーク 北部地域には宝塚駅前と直結する公共交通が必須である。需給バランスが悪いのであれば、西谷に需要を喚起するような機能立地を大胆に進めるべきである。	【原案のとおりとします】 交通ネットワークについては、鉄道などで各拠点を結び、それをバスや新たな移動手段が補完し、誰もが安全・安心に移動できる交通ネットワークの形成をめざすことを掲げています。今後はこの目標に基づき公共交通に関する計画を策定し、具体的な方針を示す予定です。	いただきましたご意見等について、見直しには至りませんでした。今後の取組みの参考とさせていただきます。
23		31	(3)ネットワーク ②水と緑のネットワーク 前回計画には、水と緑のアメニティ軸、歴史と文化のアメニティ軸、花と緑のアメニティ軸など都市生活に潤いと活力を促すネットワークが存在したが、本計画ではほとんど記載がない。宝塚は南部、北部とも他市に無い、山並みと小河川で形成する心地よい風景や景観があり、これらを巡る散策は健康増進、交流、フラストレーション解消など多大の効果が期待される。重要なネットワークとして位置付けるべきである。P56以降の地域別都市づくり図も同様。	【原案のとおりとします】 地域の特性を生かした都市づくりの重要性については認識しているところであり、都市づくりの方針において、河川や緑等を生かした整備を掲げています。今後はこの方針に基づき、個別具体的な計画を示していくとともに個別具体的な施策に取り組んでまいります。	いただきましたご意見等について、見直しには至りませんでした。今後の取組みの参考とさせていただきます。
24		43	(1)道路・交通 「…渋滞解消のための取組を推進します。…」 山本駅前周辺、南口旧宝塚ホテル周辺などくに交通渋滞が著しい地区の改善が急がれるため、より具体的な記述が必要と考える。	【原案のとおりとします】 今後は都市づくりの方針に基づき、個別具体的な計画を示していくとともに個別具体的な施策に取り組んでまいります。	いただきましたご意見等について、見直しには至りませんでした。今後の取組みの参考とさせていただきます。
25		44	②歩行者・自転車通行空間 「歴史街道や水辺沿いの遊歩道、緑道、花のみちなど…」 武庫川右岸の月地線沿いなど「観光プロムナード」も含め、賑わいの創出など地域の活性化に資する道路の利用についても…とするべきである。県による武庫川右岸高水敷も整備され多様なネットワークを検討する必要がある。	【原案のとおりとします】 地域の特性を生かした都市づくりの重要性については認識しているところであり、都市づくりの方針において、河川や緑等を生かした整備を示しています。今後はこの方針に基づき、個別具体的な計画を示していくとともに個別具体的な施策に取り組んでまいります。	いただきましたご意見等について、見直しには至りませんでした。今後の取組みの参考とさせていただきます。
26	46	③その他 「北部地域の汚水処理は、合併処理浄化槽の整備を支援します。」 西谷への誘客を積極的に図り、多様な居住環境を整備するには合併処理浄化槽の支援だけでなく、特定環境保全公共下水道、農業集落排水施設、小規模集合排水処理施設など対象区域規模に応じた処理施設整備が必要と考える。	【原案のとおりとします】 集落排水施設に関しては、多額の費用を要することから導入は困難であると考えていますが、引き続き合併処理浄化槽の支援に取り組んでまいります。	いただきましたご意見等について、見直しには至りませんでした。今後の取組みの参考とさせていただきます。	

No.	項目	ページ	市民等からの意見	市民等からの意見の採否及び理由	市民等からの御意見を受けての見直し結果
27	宝塚市都市計画マスタープラン(案)の特定の部分に関する事	50	<p>「基本方針」(4)景観を視点に地域のまちづくりに取組む…」は同感で積極的に進めてほしい。また、3Dの立体景観都市である宝塚にとって、むしろ景観を売り物にした都市づくり・都市デザインをもっと推進すべきと考える。景観魅力都市宝塚づくりを目指す。具体的には主要視点場、景観ポイント、眺望ポイント、スケッチ・写真ポイント、文化財、飲食・カフェ、地場産店、公共公益施設、文芸センター、公園、休息空間などを結び、気軽に散策できるモデルコースを設定する。全国の観光都市の殆どは〇〇景観や××風景など景観資源を全国的に売り出し誘客している。</p> <p>景観まちあるきなど市民団体を中心に積極的な活動がされ、ガイドブックを携え健康増進を兼ねた新たな景観資源探索や散策に多くの市民が参加し、毎年参加希望者が多いことから以下のような提案を行う。</p> <p>①宝塚の景観・風景探索モデルコース設定とガイドマップ作成。主な視点場紹介サイン設置。 ②景観マイスター制度創設と地域景観分析・評価スタッフ養成。地区計画、景観形成計画など課題解決の協働的取り組み参画。全市の景観魅力都市形成に向けたムーブメントづくりへの協力・協働など。 ③市外に向けた「景観魅力都市宝塚」のPRと誘客活動。 ④景観フォーラム開催。</p>	<p>【原案のとおりとします】 個別具体の施策に取り組んでいく中で参考とさせていただきます。</p>	<p>いただきましたご意見等について、見直しには至りませんでした。今後の取組みの参考とさせていただきます。</p>
28		54 66 67	<p>土地利用と地域特性No.5に掲載の平井山荘は第6地区です。表示をNo.6へ移してください。</p>	<p>【右記のとおり修正します】 地域別都市づくり図は、拠点を含んだ日常生活圏や市街地の形成過程、まちづくり協議会のまとまりなどを総合的に踏まえて範囲を決めており、地域別都市づくり図のNo.とまちづくり協議会のブロック番号が一致しない場合があります。 記載の地域の番号がまちづくり協議会のブロックと混同するのを避けるため、右記のとおり修正します。</p>	<p>地域の「No.1～7」を「A～G」に変更します。 54Pの小学校区の記載を消去します。</p>
29		56 59 60 62	<p>都市計画道路未整備の競馬場高丸線が自転車ネットワーク路線になっている。荒地西山線には無いが何故か。宝塚仁川線の宝塚大橋が自転車ネットワーク路線に指定されているが、歩道幅員や車道幅員から困難でないか。また同線沿いに北摂里山周回コースが設置されているが、主要景観ポイントであり、文化勲章受章者のブロンズ像があり(復帰すべき)、武庫川右岸と左岸を結ぶ主要都市軸景観の都市デザインから文化を感じる歩行者道と自転車通行空間をどのように調和させるのか具体案を示してほしい。しかもR176で途切れている。宝塚新大橋には無い。全体計画としての脈絡に欠ける。</p>	<p>【原案のとおりとします】 自転車ネットワークは平成30年(2018年)に策定した宝塚市自転車ネットワーク計画で自転車専用通行帯の整備方針のある路線を記載しています。</p>	<p>いただきましたご意見等について、見直しには至りませんでした。今後の取組みの参考とさせていただきます。</p>
30		56 58 60 62 64 66 68	<p>「水と緑のネットワーク」他、歴史文化資源、景観資源やポイント、主な公共公益施設、観光資源などを結ぶ歩行者道、緑道、散策道、集落道、ハイキング道などは宝塚を体感し、健康増進や心と身体のリフレッシュ、地域を知り宝塚を見守る等、多様な効果が期待される重要な都市づくりのツールである。とくに歩いて体感し観察する行為が市民の交流と協働意識を育む事にもつながり、宝塚をより魅力的にすることに結びつく。</p> <p>その重要性から、P56図に仁川・小仁川歩行軸、武庫川沿い歩行軸。P58図に逆瀬川・白瀬川歩行軸、支多々川歩行軸、塩谷川歩行軸、武庫川右岸歩行軸。小仁川から続く神戸水道歩行軸。P60図に武庫川左岸歩行軸、荒神川歩行軸、巡礼道、有馬街道、大堀川歩行軸。P62図に有馬街道、京伏見街道、大堀川歩行軸、天王寺川歩行軸、武庫川左岸北軸。P64図に巡礼道、天神川歩行軸、天王寺川歩行軸、京伏見街道、丹波街道、最明寺川歩行軸。P66図に巡礼道、天神川歩行軸、丹波街道歩行軸。P68図に主な集落道、河川歩行軸、武庫川渓谷廃線敷。</p>	<p>【右記のとおり修正します】 地域の特性を生かした都市づくりの重要性については認識しているところであり、都市づくりの方針において、地域の特性に応じた多様な主体によるまちづくりや河川・緑等の地域資源を生かした都市施設整備等を示しています。今後はこれらの方針に基づき、個別具体の計画を示していくとともに個別具体の施策に取り組んでまいります。 河川、巡礼街道、JR廃線敷については、地域資源として地域特性の図に記載していますが、旧街道について記載がなかったため、右記のとおり修正します。</p>	<p>地域別都市づくり図の地域特性の図に有馬街道、京伏見街道、丹波街道、西宮街道、塩尾街道を追加します。</p>